



Round Table Discussion

座談会



中込 和幸

NAKAGOME Kazuyuki

国立研究開発法人
国立精神・神経医療研究センター
理事長・総長

司会



加藤 知子

KATO Tomoko

かとうメンタルクリニック
副院長



金 吉晴

KIM Yoshiharu

国立研究開発法人
国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所所長



小平 雅基

KODAIRA Masaki

総合母子保健センター
愛育クリニック
小児精神保健科部長

(五十音順)

テーマ

DV・虐待への精神科的対応

ドメスティック・バイオレンス (domestic violence ; DV) や虐待の被害を受けると、うつ病や心的外傷後ストレス障害 (post-traumatic stress disorder ; PTSD), 不安障害, 物質使用障害などさまざまな精神疾患が引き起こされることがわかっている。日常の臨床で出会うそうした疾患の患者は、過去に虐待にあっていなくてもいい。実は現在進行形でDVの被害を受けているかもしれない。では、それがわかったときにどのように対応すべきだろうか。今回は編集委員の中込和幸先生ご司会のもと、DV・虐待被害者の診療に力を入れておられる3人の先生方にご参加いただき、DV・虐待に関する基本事項から実際の対応についてまでお話しいただいた。